

穀物

1 2009/10年度の国際的な穀物需給の概要

2009/10年度の穀物需給（予測）のポイント

2009/10年度の穀物需給は、米は生産量の増加が見込まれているものの、それ以外の穀物は小麦、大麦を始めとして前年を下回ると見込まれる。一方、消費量はすべての穀物で前年よりも増加すると見込まれ、とうもろこし、大麦、ソルガムでは消費量が生産量を上回るものの、穀物全体としては、3年連続で消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

このため、穀物全体の期末在庫量は僅かではあるが積み上げられると見込まれる。

【生産量】

世界の穀物全体の生産量は、米を除いて減少すると見込まれ、前年度より44.8百万トン減少（2.0%）し、2,179.1百万トンとなる見込みである。

品目別には、世界的に増産となった前年度と比較して、小麦については、市場価格の低下や経済の減退による面積の減少と単収の低下が見込まれ、大麦についても単収が低下すると見込まれている。一方、米はインド、タイ、インドネシア等の増産から生産量が増加するとの見通し。

【消費量】

世界の穀物全体の消費量は、堅調な食用、エタノール原料用の需要の増加などから、前年度より32.7百万トン増加（1.5%）し、2,176.5百万トンとなる見込みである。

品目別には、とうもろこしについては、米国でエタノール需要を中心とした増加、中国等で飼料用需要を中心とした増加が見込まれ、小麦については、食用需要を中心としてインド等で増加が見込まれる。

【貿易量】

世界の穀物全体の貿易量は、前年度より6.3百万トン減少（2.4%）し、259.9百万トンとなる見込みである。

品目別には、とうもろこしについては、米国の輸出量の増加が見込まれるものの、小麦については、生産量の減少に伴い、ウクライナ、EU、米国等で輸出量が減少すると見込まれている。

【期末在庫量】

世界の穀物全体の期末在庫量は、生産量が消費量を上回ると見込まれていることから前年度より2.5百万トン増加（0.6%）し、443.3百万トンとなる見込みである。また、穀物全体の期末在庫率は、期末在庫量が積み増しされるものの消費量の増加から、20.4%と0.2ポイント低下する見込みである。

品目別には、小麦、米については生産量が消費量を上回り、期末在庫量が積み増しされるが、とうもろこし、大麦、ソルガムについては生産量が消費量を下回り、期末在庫量が取り崩されると見込まれている。

表 - 1 世界の穀物需給

◎穀物の需給

(単位:百万トン)

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10			
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	穀物計	2120.6	2223.9	2179.1	8.3	2.0
	小麦	609.7	682.2	656.1	1.6	3.8
	粗粒穀物	1,077.2	1,097.8	1,074.5	7.1	2.1
	(とうもろこし)	791.6	787.3	781.5	3.7	0.7
	(大麦)	133.1	153.9	142.9	3.4	7.2
	(ソルガム)	63.3	62.0	61.7	0.1	0.5
	米	433.7	443.9	448.5	0.4	1.0
消費量	穀物計	2101.1	2143.8	2176.5	2.6	1.5
	小麦	616.7	633.8	641.8	1.0	1.3
	粗粒穀物	1,056.2	1,075.4	1,091.3	1.9	1.5
	(とうもろこし)	769.9	779.4	794.5	2.0	1.9
	(大麦)	135.4	142.7	144.6	0.1	1.3
	(ソルガム)	63.2	61.6	61.9	0.2	0.4
	米	428.2	434.6	443.4	0.2	2.0
うち、 飼料用	穀物計	751.6	759.0	757.9	2.1	0.1
	小麦	96.2	114.1	111.4	0.1	2.4
	粗粒穀物	655.4	644.9	646.5	2.0	0.2
	(とうもろこし)	496.5	481.2	482.5	2.1	0.3
	(大麦)	92.7	98.7	99.8	-	1.2
	(ソルガム)	29.1	25.7	25.7	0.2	0.0
	米
貿易量	穀物計	275.8	266.2	259.9	0.1	2.4
	小麦	117.5	132.3	123.2	0.5	6.8
	粗粒穀物	127.2	105.1	107.0	0.4	1.8
	(とうもろこし)	98.6	77.9	81.5	0.3	4.6
	(大麦)	15.5	19.4	17.2	-	11.3
	(ソルガム)	9.8	5.1	5.5	-	9.6
	米	31.1	28.9	29.7	0.0	3.0
期末在庫量	穀物計	360.7	440.8	443.3	5.3	0.6
	小麦	120.0	168.4	182.7	0.8	8.5
	粗粒穀物	160.1	182.5	165.7	6.3	9.2
	(とうもろこし)	130.7	138.5	125.5	2.7	9.4
	(大麦)	18.9	30.2	28.5	3.5	5.6
	(ソルガム)	4.5	4.9	4.7	0.1	3.5
	米	80.6	89.9	95.0	0.3	5.7
期末在庫率	穀物計	17.2%	20.6%	20.4%	0.2	0.2
	小麦	19.5%	26.6%	28.5%	0.2	1.9
	粗粒穀物	15.2%	17.0%	15.2%	0.5	1.8
	(とうもろこし)	17.0%	17.8%	15.8%	0.3	2.0
	(大麦)	14.0%	21.1%	19.7%	2.4	1.4
	(ソルガム)	7.1%	8.0%	7.7%	0.1	0.3
	米	18.8%	20.7%	21.4%	0.0	0.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS & D」

注：期末在庫率の「前月予測からの変更」と「対前年度増減率」は、前月予測及び前年度とのポイント差である。

【参考】2009/10年度穀物需給予測の主な改訂（主要品目の前月予測と今月予測の差）

前月の予測からの改訂は、生産量は米、ソルガムで上方修正されたものの、小麦、とうもろこし、大麦で下方修正され、穀物全体では8.3百万トン下方修正されている。一方、消費量は小麦が米国、ロシア等で下方修正され、とうもろこしが米国で飼料用需要の減少から下方修正されており、穀物全体では2.6百万トン下方修正されている。また、期末在庫量は小麦が上方修正されたものの、とうもろこし、大麦が下方修正され、穀物全体では5.3百万トン下方修正された。

小麦

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	▲ 1.6	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.5	...	0.8
米国	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.5	-	-	0.3
カナダ	▲ 1.0	-	-	-	-	▲ 1.0
オーストラリア	-	-	-	-	-	-
EU-27	▲ 2.3	-	-	-	-	▲ 2.8
中国	0.5	-	-	-	0.1	0.1
インド	-	-	-	-	-	-
ロシア	1.0	▲ 0.5	1.0	0.5	-	2.5
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-
ウクライナ	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 1.0	-	0.3

とうもろこし

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	▲ 3.7	▲ 2.0	▲ 2.1	0.3	...	▲ 2.7
米国	▲ 3.9	▲ 2.5	▲ 2.5	-	-	▲ 1.4
中国	-	-	-	-	-	-
アルゼンチン	-	-	-	-	-	0.3
ブラジル	-	-	-	-	-	▲ 0.5
EU-27	▲ 0.4	-	-	-	-	▲ 0.4

大麦

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	▲ 3.4	0.1	1.2	-	...	▲ 3.5
オーストラリア	-	-	-	-	-	-
カナダ	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.2	-	-	▲ 0.5
米国	-	▲ 0.0	-	-	-	0.0
EU-27	▲ 3.2	-	-	-	-	▲ 3.2
ウクライナ	-	-	-	-	-	-
ロシア	0.5	0.1	0.1	-	-	0.1

ソルガム

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	0.1	0.2	0.2	-	...	0.1
米国	-	-	-	-	-	-
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-
オーストラリア	-	-	-	-	-	-
中国	-	-	-	-	-	-
インド	-	-	-	-	-	-

米

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	0.4	0.2	...	0.0	...	0.3
中国	-	-	...	-	-	-
インド	-	-	...	-	-	-
インドネシア	-	-	...	-	-	-
タイ	-	-	...	-	-	-
ベトナム	-	-	...	-	-	-
フィリピン	-	-	...	-	-	-

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」, 「Grain: World Markets and Trade」, 「PS&D」

注: 期末在庫量の変更については、2008/09年度の需給データの改訂により、2009/10年度の期首在庫量が修正されたことに伴う場合もある。